

**製品名: CNOT7 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab01367**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC,IP
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 33 kDa; Observed MW: 33 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Cnot7
別名	CCR4-associated factor 1; CAF-1
遺伝子 ID	18983.0
SwissProt ID	Q60809
免疫原	マウス CNOT7 の合成ペプチド

**背景**

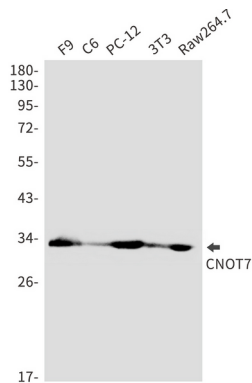
合成ポリ(A)RNA 基質に対する 3'-5'ポリ(A)エキソリボヌクレアーゼ活性を有する。その機能は CNOT8 の機能と部分的に重複している。

ると考えられる。主要な細胞内 mRNA デアデニラーゼの一つである CCR4-NOT 複合体の触媒成分であり、バルク mRNA 分解、miRNA を介した抑制、翻訳開始時の翻訳抑制、そして一般的な転写制御など、様々な細胞プロセスに関連している。

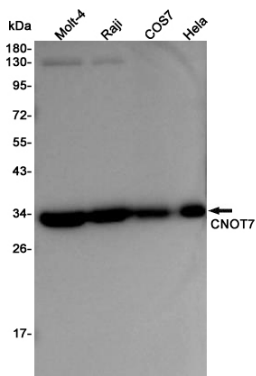
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

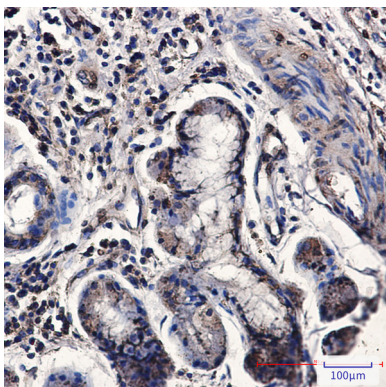
## 画像データ



CNOT7 抗体を使用した F9、C6、PC-12、3T3、Raw264.7 溶解物中の CNOT7 のウエスタンブロット分析。



CNOT7 抗体を使用した、Molt4、Raji、COS7、HeLa 溶解物中の CNOT7 のウエスタンブロット分析。



CNOT7 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。